

～自然に優しい下着を～

(株) ワコールの環境配慮材料への取り組み事例のご紹介 (メンズ編)



株式会社ワコール 商品本部 第2ブランドグループ

メンズインナー商品営業部長 伊藤 潤治

ワコールグループでは、深刻化する気候変動課題の解決と脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるため 2030 年に向けた独自の環境活動の目標を設定しています。

ESG マテリアリティ (重要課題) の一つとして「環境負荷を低減する事業活動の推進」を目指しており、その中、22SS より旭化成様のリサイクルストレッチポリウレタンである「ROICA®EF」を使用したメンズインナー製品を採用しました。

本セミナーでは身近な「下着」からどう環境にアプローチしているのかを以下3点に沿って皆様にお伝えしたいと考えております。

【項目】

- ① 会社紹介・メンズインナーの事業紹介
- ② 旭化成様 ROICA®EF 採用の背景と売上動向、お客様へのアプローチなど。
- ③ メンズにおける今後について

以 上

～ROICA®EF を採用した商品事例～

BROS BY WACOALMEN ボクサーパンツ

(GT3110)

(GT3224)



《自然に優しい下着を》

～（株）ワコールの環境配慮商品開発 取り組みのご紹介（レディース編）～ 環境配慮型 商品グループ『L∞ping（ルーピング）』のご紹介



株式会社ワコール 商品本部 第3ブランドグループ

直営店商品企画部 商品企画課 課長 河合 恵里奈

ワコールグループの直営店ブランド『AMPHI（アンフィ）』から、若年層に向けた環境配慮型 商品をご紹介します。下着としての快適さを追求しながら、地球環境にもやさしい商品グループL∞ping（ルーピング）。“LOVE ME、LOVE EARTH.”をメッセージとして、サステイナブルなものづくりを目指した、その開発背景と商品の環境配慮ポイントをお伝えしたいと考えております。

【項目】

- ① 直営店ブランド『AMPHI（アンフィ）』紹介
- ② 環境配慮型 商品グループ『L∞ping（ルーピング）』紹介

以 上

～ L∞ping（ルーピング）商品の一例 ～



PROCESS

LOOPing のブラジャーは
製品の約**60%**にリサイクル糸を
使用しています。

今まで破棄していた、糸を製造する過程で発生する
工場屑や残糸をリサイクルして使用しています。

リサイクル糸使用率

部位	リサイクル糸使用率
ストラップ	約94%
カップ裏	約61%
カップ裏・レース	約40%
バック	約71%

※それぞれ重量比を記載しています。

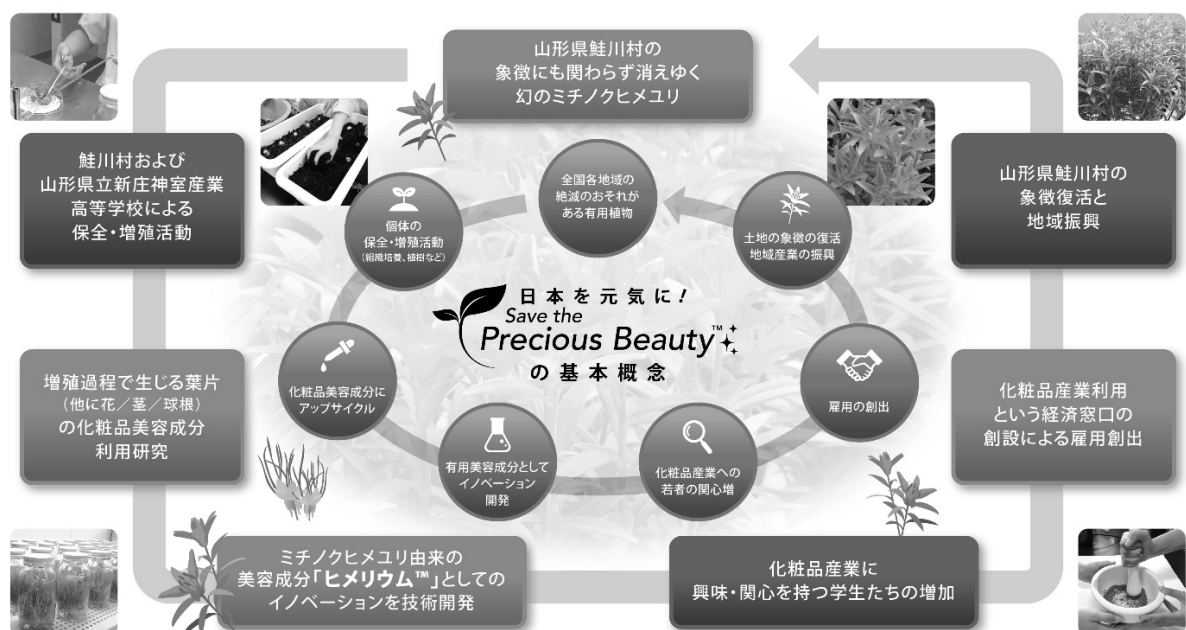
絶滅が懸念される種の保全×有用美容成分の新規技術開発×地域×人のリバイバルプロジェクトー
ミチノクヒメユリ由来美容成分開発が示す、化粧品素材の新たなサステナビリティへの貢献とは

株式会社テクノブル 創造企画開発部
創造企画開発課 兼 グローバル営業開発課
室長 小泉 勇樹

今回、山形県鮭川村の象徴でありながら、絶滅のおそれがあり、幻となりゆくミチノクヒメユリに着目し、山形県立新庄神室産業高等学校と共同で、復活事業を美容に応用して、産業と雇用の活性化にもつなげる活動を開始しました。さらに、未利用資源である葉片に着目し、アップサイクル発想で美容成分開発を行います。絶滅が懸念される種の保全×有用美容成分の新規技術開発×地域×人のリバイバルプロジェクト・Save the Precious Beauty と名付けた本取り組みは、日本を元気にする、これまでにない新たな取り組みです。高校生が事業に携わることで、化粧品産業や、サステナビリティの教育の場の提供にもつながります。

環境省によると、日本の植物の約1／4が絶滅のおそれがあるとされており、地球温暖化や人々の経済活動などによって、日本の自然と多様性は失われつつあります。絶滅に瀕する植物の中には、人々の生活と密接な関係を築いてきた有用植物が潜在しています。今回ミチノクヒメユリを皮切りとするこの取り組みは、従来から行われている一般的な環境保全や、地域振興ではなく、特定の絶滅の懸念がある種のリバイバルにスポットを当てることで、その種の復活と、地域活性・雇用創出を同時に実現する新たなタイプの美容成分開発とサステナビリティ活動を示す可能性があります。

そして、本取り組みの第一弾として誕生したミチノクヒメユリ葉片由来美容成分ヒメリウム®-SP-W は、ポリフェノールなどが豊富に含まれ、抗酸化をはじめとする美肌への機能性が確認されています。



皮膚における摩擦の影響と摩擦ストレスのないケアについて

株式会社ファンケル ビューティサイエンス研究センター
センター長 桜井 哲人

皮膚を取り巻く環境は多様化し、皮膚に悪影響を与える外的ストレスは紫外線や乾燥だけでなく、摩擦も外すことができない。顔では、クレンジングや洗顔行為、化粧水使用時のコットンによるパッティング、ファンデーションのパフ使用時に発生する摩擦等が代表的なものであるが、近年ではマスク着用時の接触部位の刺激による皮膚への影響も大きい。また、身体では、日常的に着用、使用する衣類やタオルによる摩擦刺激とともに、冬期の静電気の発生に伴う皮膚への影響も大きい。皮膚の最上層にある角層は外的刺激から肌を守るバリアの機能が主たる機能であるが、さらに、表面から受けた刺激を表皮細胞に伝達する重要な仕組みも存在する。これらの機能は、外からの刺激に反応するための重要な機能ではあるが、累積的な刺激は、皮膚内部を過剰反応状態に導き、皮膚に対しても悪影響を与えうることが予測される。重要となるのは、摩擦の蓄積が長期的に皮膚に与える影響を予測できることである。我々は、この摩擦刺激の蓄積による肌表面そして内部構造の変化を評価することを試み、刺激および老化に関わる因子の変動を見出した。

これらの摩擦による皮膚への負担の軽減のためには、顔ではクレンジングや洗顔等での摩擦軽減、身体では、クリームにおける塗布時のなめらかさや肌着などの衣類の着用における摩擦軽減およびスキンケア効果の付与が重要と考える。これらの”摩擦”に対する商材開発において導入してきた技術についても紹介をする。

マスクで硬くなった表情を笑顔に変える
～笑顔でステキなコミュニケーションができるように～

株式会社ミトマ 代表取締役／笑顔表情筋®協会 代表
北野 珠誇

step 1 ・ 表情筋とは

- ・ 笑顔表情筋の座学
- ・ 自分の顔の表情筋の癖を知る
- ・ レッスン前の顔を緩めるための体操など
- ・ レッスン前の笑顔写真を撮る

step 2 ・ 硬い笑顔が自然な笑顔に変わるレッスン

(眼輪筋・眼窩部)

- ・ 目を開ける筋肉をトレーニング
- ・ 笑顔写真を高めるエクササイズなど

step 3 ・ 口角や頬をあげるエクササイズ

(小頬骨筋)

- ・ 頬をあげて笑顔力をあげるエクササイズ
- ・ 左右対称口角上げストローレッスン
- ・ ビフォーアフターで確認

▼レッスン後の写真撮り